



教育目標：自ら学ぶ意欲にあふれ、共に高め合い、心豊かで未来を切り拓く子どもの育成



## ～学力向上に向けた取り組み～



5月27日に実施された、全国学力・学習状況調査とすくすくウォッチ(小学生すくすくテスト)の調査結果を学校だより第16号と第17号でお伝えしました。これらの調査の結果は、特定の学力や学習状況の一部と受け止めており、学校の教育活動の一側面でしかないと考えています。

第18号では、これらの調査結果を踏まえ、守口小学校の学力向上に向けた取り組みについてお伝えし、できることを学校と家庭が連携して一緒に考えていく機会にしたいと思います。

### ◎調査の結果より

#### 成果

- ・家で計画を立てて勉強している児童の割合が高く、また、1日当たり30分以上勉強している児童の割合も高いことから、家庭学習の定着が見られる。
- ・1日当たり10分以上読書をしている児童の割合が高く、読書への取り組みの成果が表れている。
- ・課題解決に向けた取り組みや話し合い活動について肯定的回答をしている児童の割合が高く、授業での課題解決に向けた取り組みの成果が表れている。
- ・「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」や「新聞を読んでいる」児童の割合が全国等よりも高くなっています。これらは、総合的な学習の時間などに子ども新聞づくり(NIEの取り組み)を通して地域に関わり、発信してきた成果が表れている。



#### 課題

- ・記述式の問題の正答率が低く、また、無回答率も高い。
- ・「自分の考えを積極的に発言している」や「工夫して発表している」の肯定的回答をしている児童の割合が低いことから、学んだことや知っていることを整理してまとめるや活用することに課題が見られる。
- ・文章や図・表から必要な情報を読み取る力に課題が見られる。
- ・自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強している児童の割合が、市や府の平均よりは高いが、家庭での自学自習力の育成の観点からは、課題が見られる。



### ◎今後の取り組み

#### これまでの取り組みの継続

- ・読書の活動に関する取り組み(長休時の図書室の開放、リーディングスタッフによる貸出し・読み聞かせ、図書委員会による読み聞かせなど)を継続していく。  
また、授業での学校司書との連携も継続していく。
- ・課題解決に向けた取り組みや話し合い活動については、より効果的な方法の研究を深め、授業改善の一つとして、今後も取り組みを継続していく。



### 「書く」活動を進める

- ・発達段階に応じた「書く」活動を全学年での取り組みとして進める。
- ・書いた文章を読み返すことを習慣にできるようにしていく。(習った漢字の活用、誤字・脱字、文末表現など)



### ICT 機器の活用

- ・タブレット端末を活用して、「個人で考える → 全体で交流・共有 → クラスで深める」など、考えをまとめたり、活用したりできるように、効果的な活用についての授業づくりに努める。
- ・タブレット端末を活用した家庭学習ができるように課題の工夫に努める。



### 家庭での自学自習力を高める

- ・家庭で、宿題以外の勉強ができるように自学自習ノートの取り組みを検討する。

## ◎家庭へのお願い

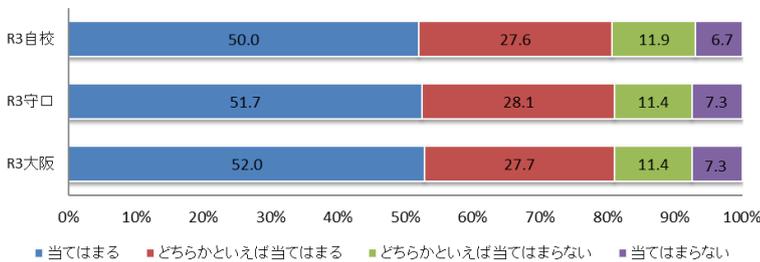
### 学校と保護者が相談し合える関係づくり

- ・学校での取り組みをお知らせしていく。
- ・学校と家庭が連携を深めていく。

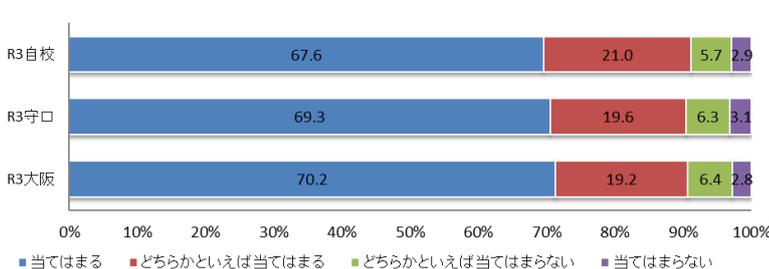


《すくすくウォッチのアンケートより》

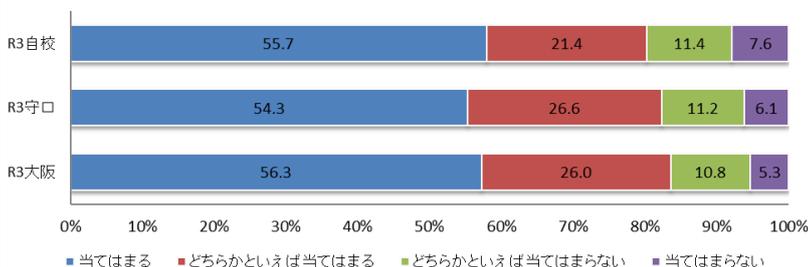
家の人と、その日の出来事について話をしている



家の人に褒められることがある



家の人と一緒に遊んだり、勉強したり、家の仕事をしたりすることがある



### 規則正しい生活の継続

- ・毎日、朝ごはんを食べる、毎日同じくらいの時刻に寝るなど、規則正しい生活を送るようにする。
- ・ゲーム機、タブレット、スマートフォン等で、動画を見たり、ゲーム等で遊んだり、SNS をしたりする時間が長時間にならないように、使用する時間を決める。

### 学習の進捗や状況を共有する

- ・毎日の宿題のチェックをする。
- ・家庭で宿題の確認をする。(音読を聞く、課題ができてきているかなど)
- ・自分で決めた自学自習ができるように一緒に内容を考える。

### 子どもと向き合う時間を確保する

- ・ねばり強く子どもの話を聞く。子どもにねばり強く話をさせる。(最後まで、分かるように話をさせる)
- ・普段の生活の中で、子どもに考えさせるような言葉を投げかける。(「どうして?」や「なぜ?」など)